国語 3　学校ボランティアにインタビューをする

3　谷さんの学級では、学校ボランティアの人たちを全校にしょうかいするために、自分の相手を決めてインタビューをすることにしました。次は、**【谷さんの考え】**と**【インタビューの様子】**です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【谷さんの考え】

学校ボランティアの中で、登下校でお世話になっている見守りボランティアの方は、毎朝早くから大変そう。どうして続けているのだろう。私の通学路に立ってくださっている寺田さんと山本さんにインタビューをして、お二人の思いを聞いてみよう。

【インタビューの様子】

谷さん　こんにちは。いつも私たちの登下校を見守ってくださり、ありがとうございます。今日は、お二人からお話を聞きたいので、どうぞよろしくお願いします。お二人は、毎朝七時三十分から活動されているそうですね。大変ではありませんか。

寺田さん　確かに朝早いのは大変です。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと思っているのです。

山本さん　私は、最近この地域に住むようになり、見守りボランティアを始めました。慣れないうちは大変でしたが、今では元気をもらっています。

谷さん　そうなのですね。元気をもらっているということについて、もう少しくわしく教えてください。

山本さん　子供たちから、「いつも見守ってくれてありがとう。」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元気が出てきます。町で出会った保護者の方が「いつもありがとうございます。」と言ってくださることもあり、やりがいを感じています。

谷さん　**ア**やりがいというのは、ボランティアをやっていてよかったということだと思いますが、合っていますか。

山本さん　はい、そのとおりです。ボランティアをやって本当によかったと思っています。子供たちの安全を守るために、役に立っていると感じられるので、大変さよりもやりがいのほうが大きいです。

谷さん　なるほど。そうなのですね。

寺田さん　私も子供たちが安全に登下校している様子を見るとうれしくなり、やりがいを感じます。子供たちのすてきな姿を見たときには、さらにうれしい気持ちになり、ボランティアをしていてよかったなと思います。

谷さん　**イ**すてきな姿というのは、どのような姿ですか。

寺田さん　一人で下校する友達に声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿などです。そんな姿を見ると、とてもうれしい気持ちになります。

谷さん　そんなふうに言っていただけて、私もうれしいです。
はじめは、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだと考えていましたが、

［　　］

全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございました。

一　**【インタビューの様子】**で、谷さんが、――― 部**ア**と ――― 部**イ**のように質問した理由について、次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1)　谷さんが、――― 部**ア**のように質問した理由として最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　相手の活動の予定を、より具体的に知るため。
2　相手の話の内容を、より具体的に知るため。
3　自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
4　自分の行動が可能かどうかを相手に確かめるため。

(2)　谷さんが、――― 部**イ**のように質問した理由として最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　相手の活動の予定を、より具体的に知るため。
2　相手の話の内容を、より具体的に知るため。
3　自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
4　自分の行動が可能かどうかを相手に確かめるため。

二　谷さんは、寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを【インタビューの様子】の［　　］で話そうとしています。**あなたが谷さんなら**、どのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
- **寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書くこと。**
- **【インタビューの様子】の、寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。**
- **書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。**

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

はじめは、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだと考えていましたが、◆

40字
60字

三　谷さんは学習をふり返り、インタビューをするときの敬語の使い方について、ノートにまとめています。次の**【谷さんのノートの一部】**の［ア］と［イ］に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【谷さんのノートの一部】

聞きのがしたことを相手に確かめるとき

○○さんが［ア］ことを、もう一度［イ］いいですか。

1　ア　おっしゃった　　イ　うかがって
2　ア　申した　　イ　お聞きになって
3　ア　おっしゃった　　イ　お聞きになって
4　ア　申した　　イ　うかがって

出題の趣旨

話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

話を聞いて自分の考えをまとめる際には、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめることが大切である。

本問では、学校ボランティアの人たちを全校に紹介するために、登下校でお世話になっている見守りボランティアにインタビューをする場面を設定した。谷さんは、寺田さんと山本さんから聞いた事柄を基に、確かめたい点や具体的に知りたい点を質問しながらインタビューをしている。ここでは、谷さんの立場を通して、話し手の考えと自分の考えを比較しながら、ボランティアを続けている思いについて、分かったことをまとめることが求められる。また、必要なことを質問しながら聞くことや、適切な敬語の使い方について理解することも求められる。

なお、過去の調査結果で見られた課題と関連する設問は、以下のとおりである。

○　設問**三**は、平成30年度【小学校】国語A[7]（正答率56.3％）において、「相手や場面に応じて適切に敬語を使うこと」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第５学年及び第６学年〕　思考力、判断力、表現力等　A　話すこと・聞くこと

イ　インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。

設問一(1)、(2)

趣旨

必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第３学年及び第４学年〕　思考力、判断力、表現力等　A　話すこと・聞くこと

エ　必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率(%)	正答
3	一(1)	1	１　と解答しているもの	4.5	
		2	２　と解答しているもの	15.0	
		3	３　と解答しているもの	73.8	◎
		4	４　と解答しているもの	2.8	
		99	上記以外の解答	0.1	
		0	無解答	3.7	
	一(2)	1	１　と解答しているもの	6.9	
		2	２　と解答しているもの	74.2	◎
		3	３　と解答しているもの	7.8	
		4	４　と解答しているもの	7.0	
		99	上記以外の解答	0.1	
		0	無解答	4.1	

２．分析結果と課題

○　一(1)の正答率は73.8%であり、一(2)の正答率は、74.2%であった。また、一(1)で正答している児童の90.1%が、一(2)も正答している。これらの結果から、確かめたい点を聞く質問と、具体的に知りたい点を聞く質問の違いを正しく捉えることができていると考えられる。

○　一(1)の解答類型２は、谷さんの質問が、相手の話の内容について、より具体的に知るためのものであると捉えており、自分の理解が正しいかどうかについて、相手に確かめるためのものであることを捉えることができなかったと考えられる。この中には、確かめたい点を聞く質問と具体的に知りたい点を聞く質問との違いを捉えることができていない児童がいたと考えられる。

３．学習指導に当たって

必要なことを質問しながら聞く

○　インタビューをするとは、目的をもって特定の相手に質問し、必要な情報を聞き出すことである。その際、聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を質問することが大切である。

本設問一(1)では、谷さんが、山本さんの「やりがい」という言葉を取り上げて、「～ということだと思いますが、合っていますか。」と質問している。ここでは、谷さんの質問が、自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるものであることを捉えることが求められる。

また、本設問一(2)では、谷さんが、寺田さんの「すてきな姿」という言葉を取り上げて、「どのような姿ですか。」と質問している。ここでは、谷さんの質問が相手の話の内容をより具体的に知るためのものであることを捉えることが求められる。

学習指導に当たっては、インタビューなどをする際に、どのような目的で聞くのか、自分が聞きたいことは何かなどをよく確かめて聞くことができるようにすることが大切である。第５学年及び第６学年では、自分はどのような情報を求めているのか、聞いた内容をどのように生かそうとしているのか、そのためにどういった情報を相手から引き出そうとしているのかなどを明確にして聞き、話の内容を捉えることが求められる。相手の話の中に、目的に関わる言葉が出てきたときには、その言葉を取り上げて詳しく聞くなど、分からない点や確かめたい点などを質問するという視点を明確にして指導することが考えられる。

ここでは、質問しながら聞くときのポイントを確かめる指導事例を、**「授業アイディア例」**の**「③／７　質問しながら聞くときのポイントを確かめる」**に示す。

学習指導に当たっては、以下の資料も参考になる。

（参照）

①「令和４年度【小学校】報告書」p. 26
https://www.nier.go.jp/22chousakekkahoukoku/report/data/22plang.pdf#page=29

②「平成31年度【小学校】報告書」p. 52
https://www.nier.go.jp/19chousakekkahoukoku/report/data/19plang.pdf#page=54

③「平成31年度【小学校】授業アイディア例」pp. ７－８
https://www.nier.go.jp/jugyourei/h31/data/19p.pdf#page=8

④「平成24年度【小学校】報告書」pp. 125-126
https://www.nier.go.jp/12chousakekkahoukoku/03shou-gaiyou/24_shou_houkokusyo-4_kokugoa_2.pdf#page=5

設問二

趣旨

目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第５学年及び第６学年〕　思考力、判断力、表現力等　A　話すこと・聞くこと

エ　話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
3	二	（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ①　寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、以下のことを書いている。 a　寺田さんと山本さんの二人の思いをまとめて書いている。 b　寺田さんの思いと山本さんの思いを区別して書いている。 c　寺田さんの思いと山本さんの思いのどちらかを書いている。 ②　**【インタビューの様子】**の、寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書いている。 ③　書き出しの言葉に続けて、40字以上、60字以内で書いている。 （正答例） ・　お二人ともわたしたちの安全を守ることにやりがいを感じながら、ボランティアを続けてくださっているということが分かりました。（60字）（解答類型１） ・　寺田さんは、子どもたちのすてきなすがたがうれしく、山本さんは、声をかけてもらって元気が出るので続けていると分かりました。（60字）（解答類型２） ・　「ありがとうございます。」などと声をかけてもらうことがあり、役に立っていると感じられるから続けているのだと分かりました。（60字）（解答類型３）			
		1	条件①、②、③を満たしているもののうち、条件①については、aを書いているもの	33.4	◎
		2	条件①、②、③を満たしているもののうち、条件①については、bを書いているもの	7.2	◎
		3	条件①、②、③を満たしているもののうち、条件①については、cを書いているもの	29.8	○
		4	条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもののうち、条件①については、aを書いているもの	1.7	
		5	条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもののうち、条件①については、bを書いているもの	0.1	
		6	条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもののうち、条件①については、cを書いているもの	0.8	

		7	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもののうち、条件①については、aを書いているもの ＊条件③を満たしているかどうかは不問とする。	1.2	
		8	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもののうち、条件①については、bを書いているもの ＊条件③を満たしているかどうかは不問とする。	0.0	
		9	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもののうち、条件①については、cを書いているもの ＊条件③を満たしているかどうかは不問とする。	0.1	
		10	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの ＊条件③を満たしているかどうかは不問とする。	8.3	
		99	上記以外の解答	3.3	
		0	無解答	14.2	

2．分析結果と課題

○　本設問の正答率は、解答類型１～３の合計の70.4%であった。一方で、解答類型10の反応率や無解答率も踏まえると、目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題があると考えられる。

○　解答類型１～３は、寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて分かったことを、**【インタビューの様子】**の寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げながら、40字以上、60字以内で書いているものである。このうち、解答類型１は、寺田さんと山本さんの二人の思いをまとめて書いているものである。解答類型２は、寺田さんの思いと山本さんの思いを区別して書いているものである。解答類型３は、寺田さんの思いと山本さんの思いのどちらかを書いているものである。

解答類型２に比べて解答類型１と３の反応率が高いことから、二人の思いを区別して考えるより、二人の思いをまとめて考えたり、どちらかの思いを中心にして考えたりした児童が多かったと考えられる。

○　解答類型１の具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
・　お二人とも、大変さよりも子どもたちの安全を守るやりがいの方が大きいから、ボランティアを続けていることが分かりました。(58字)

このように解答した児童は、寺田さんと山本さんの二人の思いをまとめて書いている。この中には、「やりがい」や「安全を守る」などの二人に共通する思いに着目することで分かったことをまとめることができた児童がいたと考えられる。

○　解答類型２の具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
・　山本さんは声をかけてもらって元気になり、寺田さんは子どもたちのすてきなすがたがうれしくて、続けていると分かりました。(58字)

このように解答した児童は、寺田さんの思いと山本さんの思いを区別して書いている。この中には、山本さんは、「元気が出る」や「役に立っていると感じる」など、寺田さんは

「うれしい気持ちになる」など、それぞれの思いに着目することで分かったことをまとめることができた児童がいたと考えられる。

○　解答類型３の具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
- 「ありがとうございます。」と声をかけてもらうことがあり、役に立っていると感じられるので、続けていることが分かりました。(59字)
- 上級生が下級生の手を引いているすがたを見ると、うれしい気持ちになるから、ボランティアを続けていることが分かりました。(58字)

このように解答した児童は、寺田さんの思いと山本さんの思いのどちらかを書いている。この中には、山本さんか寺田さんかのどちらかの思いを中心にして分かったことをまとめることができた児童がいたと考えられる。

○　解答類型10の具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
- お二人とも、見守りボランティアの仕事は、やりがいもあるけど、大変なことの方が多いと感じていることが分かりました。(56字)
- 寺田さんは、朝早いのは大変です。山本さんは、最近この地いきに住むようになり、慣れないうちは大変です。(50字)

このように解答した児童は、**【インタビューの様子】**の寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書いている。しかし、寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて分かったことを書いていない。この中には、寺田さんと山本さんの二人の思いを捉えることができなかった児童がいたと考えられる。また、**【インタビューの様子】**の寺田さんと山本さんの言葉や文を写したと考えられる解答などが見られた。

解答類型４～９の反応率が比較的低いことからも、**【インタビューの様子】**の中から言葉や文を取り上げて書くことや40字以上、60字以内で書くことができなかった児童より、話の内容を捉えることができなかった児童が多くいたと考えられる。

３．学習指導に当たって

目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる

○　話を聞いて自分の考えをまとめる際には、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることが重要である。その際、話し手の考えと自分の考えの共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめることが大切である。

本設問では、谷さんは、「はじめは、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだ」と考えていたが、寺田さんと山本さんの二人の話を聞いて、二人がボランティアを続けている思いについて分かったことを話そうとしている。ここでは、寺田さんと山本さんの発言を取り上げて、分かったことをまとめることが求められる。

学習指導に当たっては、相手が自分に伝えたいことや、自分が求めている情報などを明確にして聞くことができるように指導することが重要である。インタビューをする前に、自分が知りたいことや疑問に思っていることなどを整理したり、答えを予想したりしておくこと

も考えられる。その際、インタビューの進め方を友達と確認し合いながら吟味していくと効果的である。また、インタビューをする際には、自分が知りたい内容に関する言葉を取り上げ、更に質問しながら理解を深め、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめていけるようにすることも大切である。

ここでは、調査問題を教材として活用するなどして、話の内容を捉えて自分の考えをまとめる指導事例を、**「授業アイディア例」**の**「③／７　質問しながら聞くときのポイントを確かめる」**と**「⑤／７　話の内容を捉えて自分の考えをまとめる」**に示す。

学習指導に当たっては、以下の資料も参考になる。

（参照）

「平成31年度【小学校】授業アイディア例」pp. ７－８

https://www.nier.go.jp/jugyourei/h31/data/19p.pdf#page=8

設問三

趣旨

日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第５学年及び第６学年〕　知識及び技能

⑴　言葉の特徴や使い方に関する事項

キ　日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
3	三	1	1　と解答しているもの	57.8	◎
		2	2　と解答しているもの	2.9	
		3	3　と解答しているもの	23.2	
		4	4　と解答しているもの	3.5	
		99	上記以外の解答	3.2	
		0	無解答	9.5	

２．分析結果と課題

○　平成30年度【小学校】国語Ａ7（正答率56.3%）において、「相手や場面に応じて適切に敬語を使うこと」に課題があると指摘している。これに関連して、本設問では、学習を振り返り、インタビューをするときの適切な敬語の使い方についてノートにまとめる場面を取り上げた。本設問の正答率は57.8%であった。今回の結果から、日常よく使われる敬語を理解することに引き続き課題があると考えられる。

○　解答類型３は、「言う」などの尊敬語については理解しているが、「聞く」などの謙譲語については理解していないと考えられる。この中には、謙譲語の役割や例について理解していない児童がいたと考えられる。

３．学習指導に当たって

日常よく使われる敬語を理解し使い慣れる

○　相手と自分との関係を意識しながら、尊敬語や謙譲語などの敬語について理解することが重要である。

本設問では、谷さんは学習を振り返り、インタビューをするときの適切な敬語の使い方についてノートにまとめている。ここでは、尊敬語と謙譲語について理解していることが求められる。

学習指導に当たっては、日常生活の中で相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに慣れるようにすることが大切である。日常生活の実際の場面を通して、尊敬語と謙譲語について理解できるように指導すると効果的である。また、「おっしゃる」や「申す」のように特別な言葉を使った言い方があることや、「お（ご）―になる」や「お（ご）―する」のような言い方があることなどを理解できるようにすることも大切である。本設問のように、振り返りの場面で敬語が使えていたかどうかを確かめるなど、言葉遣いについて確認する活動を学習の中に取り入れることも考えられる。

ここでは、本設問を活用した学習活動の例を、次に示す。

「相手や場面に応じた敬語の使い方を考える」（学習活動の例）

＜インタビューの様子を振り返って考える例＞

【インタビューの様子】（調査問題）

谷さん　こんにちは。いつも私たちの登下校を見守ってくださり、ありがとうございます。今日は、お二人からお話を聞きたいので、どうぞよろしくお願いします。

寺田さん　お二人は、毎朝七時三十分から活動されているそうですね。大変ではありませんか。

山本さん　確かに朝早いのは大変です。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと思っているのです。

谷さん　私は、最近この地域に住むようになり、見守りボランティアを始めました。慣れないうちは大変でしたが、今では元気をもらっています。

山本さん　そうなのですね。元気をもらっているということについて、もう少しくわしく教えてください。

谷さん　子供たちから、「いつも見守ってくれてありがとう。」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元気が出てきます。「町で出会った保護者の方が、「いつもありがとうございます。」と言ってくださることもあり、やりがいを感じています。

寺田さん　やりがいというのは、ボランティアをやっていてよかったということだと思いますが、合っていますか。

山本さん　はい、そのとおりです。ボランティアをやって本当によかったと思っています。子供たちの安全を守るために、役に立っていると感じられるので、大変さよりもやりがいのほうが大きいです。

谷さん　なるほど、そうなのですね。

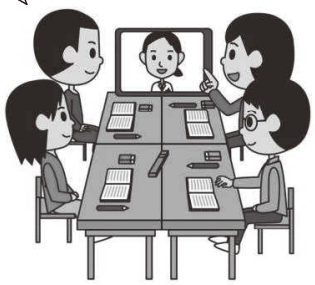
寺田さん　私も子供たちが安全に登下校している様子を見るとうれしくなり、やりがいを感じます。子供たちのすてきな姿を見たときには、さらにうれしい気持ちになり、ボランティアをしていてよかったなと思います。

谷さん　すてきな姿というのは、どのような姿ですか。

寺田さん　一人で下校する友達に声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿などです。そんな姿を見ると、とてもうれしい気持ちになります。

谷さん　そんなふうに言っていただけて、私もうれしいです。

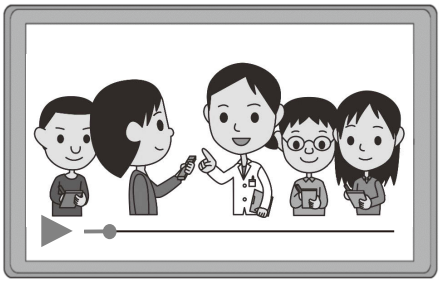
寺田さん　はじめは、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだと考えていましたが、お二人とも私たちの安全を守ることにやりがいを感じながらボランティアを続けてくださっているということが分かりました。全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございました。



教師

みなさん、学校ボランティアをしてくださっている方にインタビューをしてきましたね。今日は、そのときに撮影してきたインタビューの様子を見て、敬語が正しく使えているかどうか、確認してみましょう。

【インタビューの様子】



こんにちは。いつも私たちの登下校を<u>見守ってくださり</u>、ありがとうございます。今日は、<u>お二人からお話を聞きたい</u>ので、どうぞよろしくお願いします。

この場面で、谷さんは「見守ってくださり」と言っていて、敬語が正しく使えているね。でも、「お二人からお話を聞きたい」と言っているところは、お二人を敬う気持ちを表すために、敬語を使った方がよさそうだね。

そうだね。「伺いたい」や「お聞きしたい」と言った方が、丁寧だね。

谷さん

ありがとう。次にインタビューをするときには、気を付けてみるね。

＜他教科等の学習や学校行事、来客があるときに考える例＞

教師

来週、学校ボランティアの方々をご招待して会食を行う「感謝の会」があります。それぞれの係で、お客様を案内したり、お茶を出したりする役割がありますね。
どんな敬語を使えばよいか、係ごとに考えてみましょう。

＜案内係＞

お客様を案内するときは「会場までご案内します。」という言い方がいいよね。

「トイレはこちらをご利用ください。」と言おう。

＜受付係＞

お客様がいらしたときは「お名前をお伺いしてもよろしいですか。」と聞くといいよね。

案内状をお持ちのお客様には、「案内状をいただきます。」と言おう。

＜進行係＞

お客様にお茶を出すときは「いただいてください。」でいいのかな。

その場合は、「お召し上がりください。」、「召し上がってください。」と言った方がいいよ。

教師

みなさん、「感謝の会」に向けて、お客様への言葉遣いについてしっかりと考えることができましたね。
相手や場面に応じて適切に敬語を使うことが大切ですね。日常生活の様々な場面でも意識していきましょう。

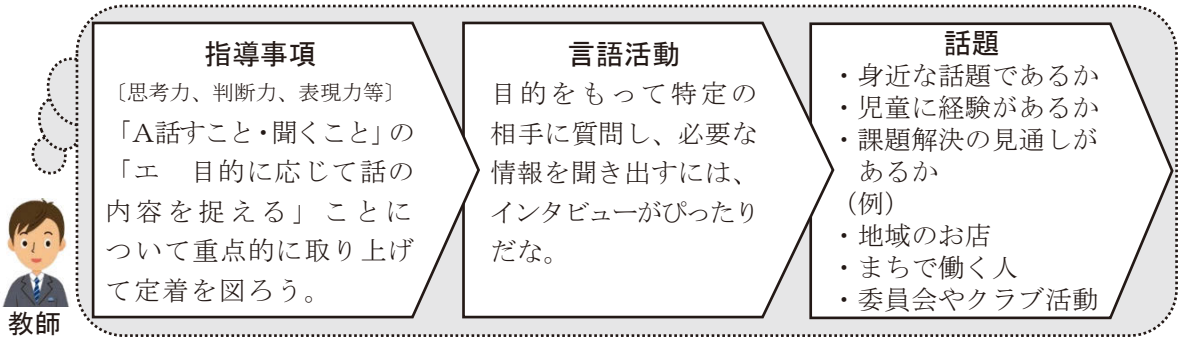
本問全体の学習指導に当たって
授業アイディア例

「学校ボランティアの人たちを紹介するためにインタビューをしよう」 ～話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめる～	〈実施対象学年〉 第５・６学年

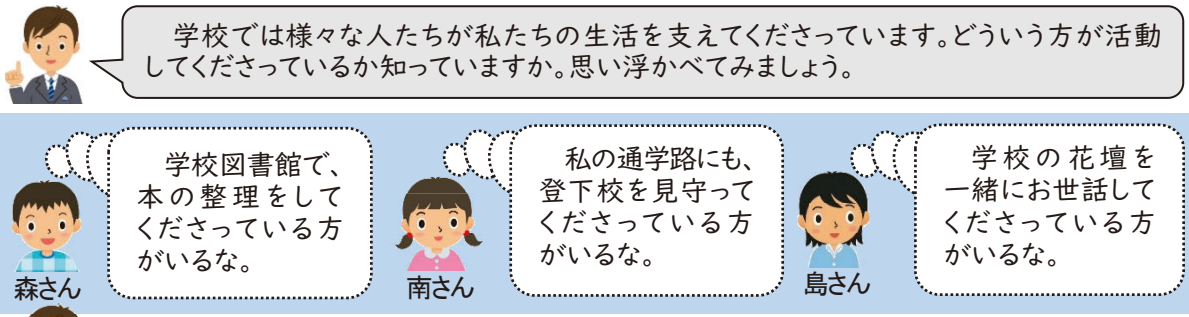
目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題が見られました。そこで、本授業アイディア例では、**一人一人が考える場面**と、**グループで話し合う場面**を行き来しながら指導することで、話の内容を捉え、自分の考えを広げたりまとめたりする指導事例を学習の流れに沿って紹介します。

①／７	学級全体の課題を設定する

◇　教師は、年間指導計画等を基に、本単元で重点的に取り上げる指導事項を明確にし、児童の実態を踏まえながら、単元の目標を実現するために適した言語活動や話題を想定します。



◇　教師の問いかけから、児童の気付きや疑問を引き出しています。



◇　一人一人の気付きや疑問を基にして話し合い、学級全体の課題を設定しています。

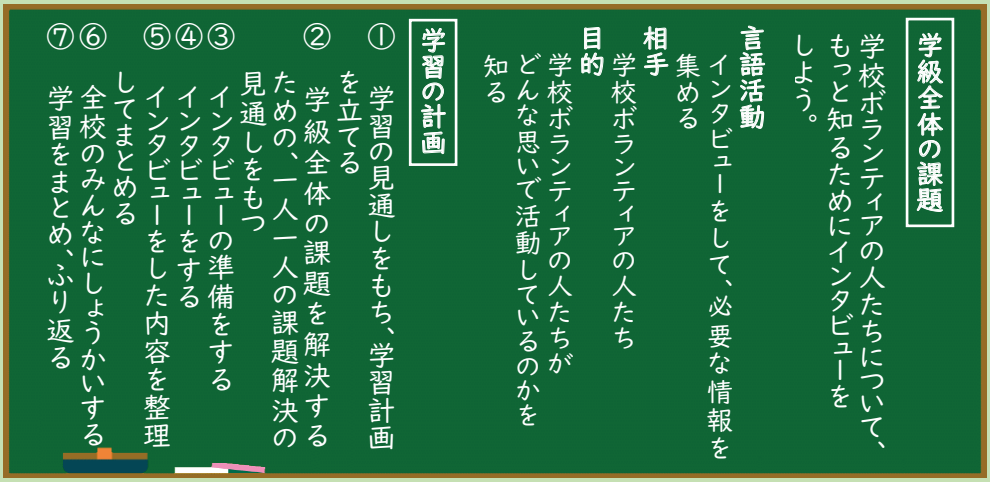
ポイント

話題は、他教科等の学習と関連付けたり、児童の実態や地域の特色に応じたりして設定すると効果的です。学級全体の課題を設定する際には、児童の問題意識や解決方法につながる発言の共通点を見いだしながら設定していくことが考えられます。

②／７	個別の課題を設定する

◇　森さんたちは、学習の見通しをもちます。

学校ボランティアの人たちは、どのような思いをもって活動しているのでしょう。



◇　森さんたちは、学級全体の課題を基にして、一人一人が課題を設定しています。

相手
図書館ボランティアの竹田さん
目的
本が好きだから続けているのかを確かめるためにインタビューをする

相手
交通ボランティアの川島さん
目的
毎日、活動するのは大変なのか、川島さんの思いを聞くためにインタビューをする

相手
花だんのお世話をしてくださっている早川さんと岩田さん
目的
学校と公園で思いにちがいがあるのかを聞くためにインタビューをする

インタビューをする前に、すでに知っていることと、知りたいことを整理しておきましょう。

ポイント

一人一人の課題を設定する際には、相手や目的などを明確にすることが大切です。また、インタビューをする必要感を高め、インタビューをした後に自分の考えをまとめやすくするために、あらかじめ、すでに知っていることと知りたいことを区別しておき、聞きたいことを明確にしておくことも大切です。

③／７	質問しながら聞くときのポイントを確かめる

◇　教師は、調査問題を教材として活用し、質問しながら聞くときのポイントについて、児童が気付くことができるようにしています。

教師：みなさんはこれまで、インタビューをするときにどんなことに気を付けてきましたか。

森さん：分からないことや確かめたいことがあったら質問することです。

南さん：話している人が何を伝えたいかを考えながら聞いたり、自分が聞きたいことは何かをはっきりさせながら聞いたりすることです。

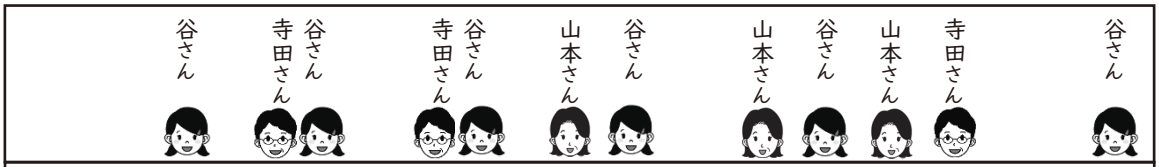
島さん：インタビューをするときには、何に気を付けたらいいですか。いいインタビューの仕方を知りたいです。

では、よりよいインタビューの仕方について、谷さんの【インタビュー前のメモ】と【インタビューの様子】から考えていきましょう。

【インタビュー前のメモ】

相手	見守りボランティアの寺田さんと山本さん
目的	毎朝早くから大変そうなのにどうして続けているのか、思いを聞く。
聞くこと	○朝早く（7時 30 分）から大変ではないのか。 ◎どんな思いで続けているのか。 ○いつから続けているのか。 ○ボランティアをしていてよかったことは何か。

【インタビューの様子】（調査問題）



谷さん
寺田さん
谷さん
寺田さん
谷さん
山本さん
谷さん
山本さん
谷さん
山本さん
寺田さん

こんにちは。いつも私たちの登下校を見守ってくださり、ありがとうございます。今日は、お二人からお話を聞きたいので、どうぞよろしくお願いします。

お二人は、毎朝七時三十分から活動されているそうですね。大変ではありませんか。

確かに朝早いのは大変です。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと思っているのです。

私は、最近この地域に住むようになり、見守りボランティアを始めました。慣れないうちは大変でしたが、今では元気をもらっています。

そうなのですね。元気をもらっているということについて、もう少しくわしく教えてください。

子供たちから、「いつも見守ってくれてありがとう。」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元気が出てきます。町で出会った保護者の方が「いつもありがとうございます。」と言ってくださることもあり、やりがいを感じています。

ア　やりがいというのは、ボランティアをやっていてよかったということだと思いますが、合っていますか。

はい、そのとおりです。ボランティアをやって本当によかったと思っています。子供たちの安全を守るために、役に立っていると感じられるので、大変さよりもやりがいのほうが大きいです。

なるほど。そうなのですね。

私も子供たちが安全に登下校している様子を見るとうれしくなり、やりがいを感じます。子供たちのすてきな姿を見たときには、さらにうれしい気持ちになり、ボランティアをしていてよかったなと思います。

イ　すてきな姿というのは、どのような姿ですか。

一人で下校する友達に声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿などです。そんな姿を見ると、とてもうれしい気持ちになります。

そんなふうに言っていただけて、私もうれしいです。

ウ　はじめは、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだと考えていましたが、お二人とも私たちの安全を守ることにやりがいを感じながらボランティアを続けてくださっているということが分かりました。全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございました。

メモには、自分が何を聞きたいのか、目的が書かれているね。実際のインタビューでも、見守りボランティアは大変そうなのにどうして続けているのかを聞いているね。

メモには、聞きたいことをしぼって書いているね。目的から外れないようにしているんだね。

でも、谷さんは、「元気をもらっているということについて、もう少しくわしく教えてください。」とか、イの「すてきな姿というのは、どのような姿ですか。」など、メモにないことも聞いているよね。

それは、「大変そうなのにどうして続けているのか」という、聞く「目的」に関わると谷さんは考えたからではないのかな。もっと深めるための質問をしているんだね。

アの「やりがいというのは、ボランティアをやっていてよかったということだと思いますが、合っていますか。」と聞いているのも、もっと深めるためなのかな。

どうかな。これは、自分の理解が正しいかを確認するためだと思うよ。途中で確かめることも大事なんだね。

【森さんたちの記録】

○質問するとき
○自分の理解が正しいかどうかを確かめる。
例 ～ということで、合っていますか。
○話の内容を、より具体的に知る。
例 くわしく教えてください。
どのような～ですか。

インタビューをするときには、自分の目的に沿って深めたり確かめたりすることが大切ですね。また、谷さんはインタビューの最後に、ウのように分かったことをまとめて伝えていますね。まとめ方のどこがよいか、話し合ってみましょう。

「やりがい」や「安全を守る」という二人の共通する思いに着目して分かったことをまとめているところがいいよね。

最初にもった自分の考えと比べて、どのように変化したかを伝えているのもいいね。島さんなら、どうまとめるかな。

私なら、「寺田さんは子供たちのすてきな姿がうれしく、山本さんは声をかけてもらって元気が出るので続けていると分かりました。」とまとめようかな。

なるほど。二人の思いを区別してまとめるのもいいね。「やりがいよりも大変さの方が大きいと分かりました。」のように、自分の思い込みにならないように気を付けたいね。

【森さんたちの記録】

○自分の考えをまとめるとき
○相手の考えと自分の考えを比べて、似ているところやちがうところを整理する。
○「確かに」と思ったことや「なるほど」と思った事例を取り上げる。

みなさんが言うように、インタビューの最後では、相手の考えと自分の考えとを比べて似ているところや違うところを整理したり、共感したり納得したりしたことを取り上げたりして、自分の考えをまとめて話すとよいですね。

ポイント

インタビューをする際は、聞く目的を意識することが大切です。自分の目的に沿って、更に深めたり確かめたりする必要があります。中学年では、記録や質問をしながら自分の聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと、高学年では、話を聞きながら、自分の考えと比べて共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめていくことができるようにすることが大切です。

⑤／７	話の内容を捉えて自分の考えをまとめる

◇　森さんたちは、インタビューをして分かったことをまとめています。

森さん

図書館ボランティアの人たちは、本が好きだから活動してくれているのはそのとおりだったな。でもそれだけではなく、学校のみんなに本を紹介することで、本が好きな子供がたくさん増えてほしいという願いがあることも分かったぞ。

南さん

交通ボランティアの人たちは、私たちが交通ルールをしっかり守って登下校していることを喜んでいたな。私たちが元気に登校する姿を見ていると、自分も子供たちの笑顔のためにがんばろうと思うと言っていたな。

島さん

学校の花壇だけではなく、公園のお世話をしているのは、きれいな場所を増やしたいということでよかったのか、少し心配です。

教師

まとめるのに困っている友達がいたときは、録画したインタビューの様子をグループで見返して、話の内容を確かめてみましょう。

島さんのインタビューを見ると、きれいな場所を増やしたい理由として、「みんなに明るい気持ちで過ごしてもらいたい」ということを話しているね。この方がボランティアの人たちの思いにより近い気がするね。

◇　一人一人の課題の解決を学級全体の課題の解決につなげて、学習のまとめをしています。

一人一人が自分が知りたいことを解決できたようですね。学級全体の課題は「学校ボランティアの方々は、どのような思いをもって活動しているのだろう」でした。みなさんがインタビューをしたボランティアの方々に共通していた思いは何でしょう。

私たちはボランティアのみなさんに支えられていることや、私たちの姿もボランティアさんの「やりがい」につながっていることを下の学年にも伝えたいな。

ボランティアのみなさんは、「やりがい」を感じているのは共通していたね。大変そうだけど、私たちのことを考えてくださっていることがうれしいよね。

自分が好きなことをしているというだけではなく、私たちのことを考えて活動していることが結果的に「やりがい」につながっているということなんだね。

学級全体の課題について考える中で、全校に伝えたい内容がはっきりしてきましたね。それでは、インタビューをして分かったことと、みんなで話し合って、更に考えたことをまとめて、全校に紹介しましょう。

全校に紹介することができるように、自分の考えをまとめる

ポイント

学級全体の課題について考えることで、他の考えと自分の考えを比べることができ、自分の考えを広げたり深めたりすることができます。一人一人が自分の課題を解決することが、学級全体の課題の解決にもつながり、協働して学習することのよさも感じることができます。協働して学習する場面を通して、一人一人の学びがより豊かになることが期待されます。

※出典等

文部科学省「やってみよう！登下校見守り活動ハンドブック」（2021年３月）を参考にした。